vol.41

あふれる

2024年11月7日（木）19：00開演

ハイドン
弦楽四重奏曲 変ロ長調 作品76-4「日の出」
ショスタコーヴィチ
弦楽四重奏曲 第8番　ハ短調 op.110
ドヴォルザーク
ピアノ五重奏曲 イ長調 Op. 81, B. 155

Quartet PaToNa

神谷 未穂、小川 有紀子（ヴァイオリン）
井野邉 大輔（ヴィオラ）、三宅 進（チェロ）

練木 繁夫（ピアノ）

Music from PaToNaの歴史とともに、演奏機会を重ねてきたQuartet PaToNa。
その冒頭が、太陽が昇るようだとされ、「日の出」という愛称がつけられたハイドンの弦楽四重奏曲。2曲目は、ショスタコーヴィチが自らの名前に含まれる「D-S（Es）-C-H（レミドシ）」の音名を織り込み、社会が思わぬ方向へ向かっていく時代に翻弄されつつ自身の精神的荒廃と闘い、涙をあふれさせながらその想いの全てを3日間で楽譜にしたためました。とても「強い」作品です。そして歌心あふれるドヴォルザークのピアノ五重奏曲には、室内楽の達人で名ピアニストの練木繁夫さんをお迎えしてお送りします。故郷・東欧の民俗的なリズムや音階をともない、抒情性あふれる名曲をお楽しみいただきます。